

環境経営レポート

【レポートの対象期間：2023年4月～2024年3月】

古金化学産業株式会社

《ご挨拶》

弊社は1985年創業以来、洗浄剤の販売と使用済み廃油の蒸留再生を中心に事業を営んでまいりました。昨今では、より環境に優しい溶剤が求められるようになり、それが炭化水素系溶剤であり、アルコール系溶剤等でございます。それに加えて従来から有ります、洗浄力と乾燥性に優れコストも安い塩素系溶剤等が混在しており、そのどれらにも一長一短があります。

かつては夢の溶剤と言われた、引火性がなく極めて毒性の低いフロン113系（1996年オゾン層破壊の為全廃）のような溶剤の開発が待たれるところでもあります。一部には商品化されておりますが、まだコスト面と洗浄力に課題が残し、暫くは今ある溶剤の中から最適なものを選択して洗浄することになります。そのどれらの溶剤に於いても蒸留再生は可能でございますので、できるだけ多くのユーザー様にアプローチして二酸化炭素削減に少しでも貢献したいと考えております。

代表取締役 古賀里子

《目次》

1. 環境方針	P-1
2. 事業活動の規模	P-2～4
3. EA21推進体制	P-5
4. 環境目標とその実績	P-6
5. 環境活動の取組計画と評価	P-7
6. 環境関連法規制の遵守	P-8
7. 代表者による全体の評価と見直し	P-9

1. 環 境 経 営 方 針

〔基本理念〕

古金化学産業株式会社は、廃油・廃溶剤の再利用に特化した産業廃棄物中間処理業者として、蒸留再生技術を磨き、リサイクル率の向上と再利用の提案等を積極的に行い、地球環境保護、産業廃棄物の再資源化により社会貢献に努めます。

〔基本方針〕

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取組みます。

1. 当社の事業活動に関わる環境関連法規、規則その他公的基準を遵守しリサイクル率の向上を目指し、資源枯渇抑制に貢献します。また環境活動の継続的改善を策定し取組みます。
2. 関連する環境の法規則を遵守するとともに行政機関、団体、地域等の要請に協力します。
3. 重点活動テーマを下記のとおり設定し環境改善への効果的な取り組みをします。
 - ①電気、水道、石油資源の節減に努め二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - ②車両等の適正管理により大気汚染防止に努めます。
 - ③廃棄物の減量化及び分別等を徹底し削減に努めます。
 - ④環境方針は全社員と共有し環境教育を行い社員の意識向上を図ります。
 - ⑤この環境管理に関する情報は社内外にも公表します。

2018年 3月 1日

古金化学産業株式会社

代表取締役

古賀里子

2. 事業活動の規模

発行日 2024年10月30日

事業概要

1. 事業所及び代表者名 【レポートの対象期間：2023年4月～2024年3月】
古金化学産業株式会社
代表取締役 古賀里子
2. 設立日
昭和60年10月28日
3. 資本金
10,000,000円
4. 所在地
本社：長野県安曇野市堀金烏川4598番地2
群馬工場：群馬県佐波郡玉村町五料814番地5
*平成27年7月31日本社の老朽化により一時閉鎖中で再開未定。
5. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
代表責任者：取締役統括部長 古賀静夫
環境管理責任者：取締役統括部長 古賀静夫、蒸留課長 小口正志（代理）
連絡先：E A 2 1 事務局 鈴木和昭
TEL：0270-65-1760
FAX：0270-65-1773
6. 対象範囲
古金化学産業株式会社 全組織及び全活動
7. 活動レポートの対象期間及び発行日
2023. 4. 1～2024. 3. 31（発行日2024. 10. 30）
8. 事業活動
洗浄溶剤（新液と再生品）の販売、産業廃棄物の収集運搬業と中間処分業、
特別管理産業廃棄物の収集運搬業と中間処分業
9. 事業規模及び環境への負荷の状況（取りまとめ表）

活動規模	単位	平成29年度 2017年	平成30年度 2018年	令和元年度 2019年	令和2年度 2020年	令和3年度 2021年
売上高	百万円	67	70	69	63	63
収集運搬量	t	834	935	998	952	993
中間処分量	t	834	935	998	952	993
従業員数	人	6	6	7	7	8
延べ床面積（群馬）	m ²	1,459	1,459	1,459	1,459	1,459
延べ床面積（本社）	m ²	150	150	150	150	150

活動規模	単位	令和4年度 2022年	令和5年度 2023年			
売上高	百万円	59	61			
収集運搬量	t	950	820			
中間処分量	t	950	820			
従業員数	人	7	7			
延べ床面積（群馬）	m ²	1,459	1,459			
延べ床面積（本社）	m ²	150	150			

特別産業廃棄物処分業許可番号							
都道府県名	許可取得年月日 及び有効年月日	許可番号	事業の区分	産業廃棄物の種類	事業の用に供するすべての施設	許可の条件	許可の更新、 変更の状況
群馬県	令和02年7月16日 令和07年7月15日	01070004163	中間処理 (蒸留)	中間処理(蒸留) ①廃油・揮発油等 ②特)廃油『トリクロロエチレン・ テトラクロロエチレン・シクロ ロメタンに限る』(以上2種 類)	ア 中間処理施設(蒸留)の設置場所 群馬県佐波郡玉村町大字五軒字南前川原814番5、814番6及び814番20 イ 中間処理施設(蒸留)の設置年月日 平成27年3月29日 ウ 中間処理施設の最大処理能力 (ア)施設の建設 蒸留 産業廃棄物の種類及び能力 廃油・揮発油等 17.09m ³ /日 特)廃油 14.23m ³ /日 エ 中間処理施設で処理する産業廃棄物の保管場所 群馬県佐波郡玉村町大字五軒字南前川原814番5、814番6及び814番20 オ 中間処理施設で処理する産業廃棄物の保管能力 保管面積 27.85m ² 保管容量 17.4m ³	なし	平成27年7月16日 令和02年7月16日

産業廃棄物処分業許可番号							
都道府県名	許可取得年月日 及び有効年月日	許可番号	事業の区分	産業廃棄物の種類	事業の用に供するすべての施設	許可の条件	許可の更新、 変更の状況
群馬県	令和02年7月16日 令和07年7月15日	01020004163	中間処理 (蒸留)	中間処理(蒸留) ①廃油 (以上1種類)	ア 中間処理施設(蒸留)の設置場所 群馬県佐波郡玉村町大字五軒字南前川原814番5、814番6及び814番20 イ 中間処理施設(蒸留)の設置年月日 平成27年3月29日 ウ 中間処理施設の最大処理能力 (ア)施設の建設 蒸留 産業廃棄物の種類及び能力 廃油 13.85m ³ /日 エ 中間処理施設で処理する産業廃棄物の保管場所 群馬県佐波郡玉村町大字五軒字南前川原814番5、814番6及び814番20 オ 中間処理施設で処理する産業廃棄物の保管能力 保管面積 9.75m ² 保管容量 4.4m ³	なし	平成27年7月16日 令和02年7月16日

特別管理産業廃棄物収集運搬業				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
都道府県名	許可取得年月日 及び有効年月日	許可番号	積替え保管 有 無	廃 油 泥 等	特 汚 泥	特 廃 油																		
群馬県	令和05年6月21日 令和10年6月20日	01050004163	有 無	●	●	●																		
長野県	令和05年12月8日 令和10年12月7日	02054004163	有 無	●	●	●																		
埼玉県	令和05年7月26日 令和10年6月30日	01154004163	有 無	●		●																		
栃木県	令和05年6月18日 令和10年6月17日	00950004163	有 無	●		●																		
東京都	令和06年2月4日 令和11年2月3日	01350004163	有 無	●		●																		
神奈川県	令和05年9月11日 令和10年9月10日	01450004163	有 無	●		●																		

産業廃棄物収集運搬業				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
都道府県名	許可取得年月日 及び有効年月日	許可番号	積替え保管 有 無	燃 え 殻	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アルカリ	チ ャ ッ ク ラ ス 類	紙 く ず	木 く ず	繊 維 く ず	動 植 物 性 残 渣	動 物 系 固 形 不 要 物	金 属 く ず	コ ン ク リ ー ト 器 具 く ず	ガ ラ ス く ず ・ 陶 磁 器 く ず	鉋 く ず	が れ き 類	動 物 の 糞 尿	動 物 の 死 体	ば い じ ん	中 間 処 理 物	輸 入 さ れ た 廃 棄 物
群馬県	令和06年9月9日 令和11年8月8日	01000004163	有 無		●	●			●															
長野県	令和05年7月5日 令和10年7月4日	02004004163	有 無			●																		
埼玉県	令和06年9月30日 令和11年8月9日	01104004163	有 無		●	●			●															
神奈川県	令和06年9月20日 令和11年8月7日	01400004163	有 無		●	●			●															
収集運搬車両の種類と台数																								
・普通貨物キャブオーバー 4t・・・2台																								
・営業者(バン1台・乗用車2台)・・・3台																								

2. 環境への負荷の状況（取りまとめ表）

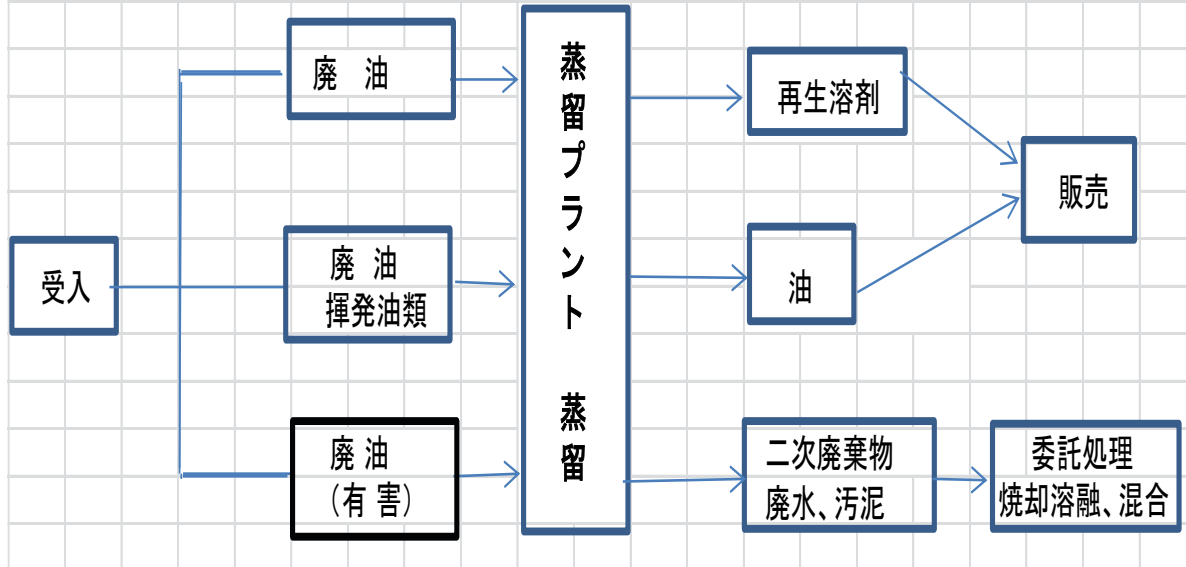
発行日 2024年10月30日

- 本取りまとめ表は、「3. エネルギー使用量」、「4. 受託、または受領した廃棄物の処理量」、「5. 一般廃棄物排出量等」、「6. 産業廃棄物排出量等」、「7. 水使用量」、「8. 化学物質使用量」を一表に取りまとめたもので、各表の黄色のセルの合計値が自動で入力されるよう設定しています。
(黄色のセルは自動で入力されます)
- 「4. 受託、または受領した廃棄物、再生資源等の処理量等」の「(3) 再生資源の回収・収集等」及び「(4) 再生資源の再資源化等」は、必要に応じて本取りまとめ表に直接入力してください。
- 【レポートの対象期間：2023年4月～2024年3月】
- 太枠内に前年度や基準年度等のデータを入力することにより、取組の効果等を評価することができます。

該当項目		(2023年 4月～2024年 3月)					(2022年 4月～2023年 3月)						
		量	料金 (円)	CO2排出量 (kg-CO2)	割合	環境負荷の要因となる主な活動・設備等 (具体的に)	量	料金 (円)	CO2排出量 (kg-CO2)	割合	量		
エネルギー 使用量 (シート：3.エネルギー 使用量)	電力1 東京電力	16,164.00	kWh	509,223	6,594.91	4.9%		17,880.00	kWh	645,530	6,722.88	5.0%	20,022.00
	電力2		kWh						kWh				
	電力3		kWh						kWh				
	電力4		kWh						kWh				
	電力5		kWh						kWh				
	ガソリン	1,106.11	L	169,711	2,566.18	1.9%		906.14	L	138,826	2,102.24	1.6%	1,663.20
	軽油	11,373.50	L	1,141,838	29,343.63	22.0%		13,060.65	L	1,257,705	33,696.48	25.2%	12,962.70
	灯油	400.00	L	44,000	1,000.00	0.7%		210.00	L	21,810	522.90	0.4%	398.00
	A重油	34,160.00	L		93,940.00	70.4%		33,460.00	L		90,676.60	67.8%	33,740.00
	都市ガス		m3						m3				
	液化石油ガス (LPG)		kg						kg				
	液化天然ガス (LNG)		kg						kg				
	合計 (エネルギー)			1,864,772	133,444.72	100.0%			2,063,871		133,721.10	100.0%	
受託、または 受領した廃棄物、再生資源 等の処理量等 (シート：4.受託、または 受領した廃棄物、再生資源 等の処理量 等)	(1) 収集運搬量	819.62	t					950.42	t				993.17
	中間処理量	819.62	t					950.42	t				993.17
	うち再資源化等量	407.11	t					430.91	t				569.04
	最終処分量		t						t				
	中間処理後の処分量	413.30	t					889.91	t				973.74
	最終処分量等	413.30	t					459.00	t				404.70
	中間処理量等		t					430.91	t				569.04
	事業系												
	家庭系												
	し尿・汚泥												
	中間処理量												
	うち再資源化等量												
	中間処理後の最終処分量												
	最終処分量												
(3) 再生資源の回収・収集等													
(4) 再生資源または廃棄物の再資源化等													
一般廃棄物総排出量 (シート：5.一般廃棄物排出量等)		kg						kg					
産業廃棄物総排出量 (シート：6.産業廃棄物排出量等)	433,830.00	L	5,994,600				457,000.00	L	6,386,600			443,100.00	
中間処理量		L						L					
うち再資源化量		L						L					
最終処分(埋立)量		L						L					
産業廃棄物 (特別管理) 総排出量 (シート：6.産業廃棄物排出量等)	55,600.00	L	834,000				76,800.00	L	1,422,000			44,200.00	
中間処理量		L						L					
うち再資源化量		L						L					
最終処分(埋立)量		L						L					
水使用量 (シート：7.水使用量)	上水	966.00	m3	122,152			894.00	m3	91,115			727.00	
工業用水		m3	0					m3	0				
地下水	37,478.00	m3	0				35,482.00	m3	0			35,329.00	
トリタレン		t					94,297.34	kg				90,933.72	
化学物質 使用量 (シート：8.化学物質使 用量)	メチクロ	96,464					12,965.00	kg				3,422.00	
パークロ	1,534						600.00	kg				2,400.05	
	</												

(2021年 4月 ~2022年 3月)				(2020年 4月 ~2021年 3月)				(2019年 4月 ~2020年 3月)				(2018年 4月 ~2019年 3月)						
	料金 (円)	CO2排出量 (kg-CO2)	割合	量		料金 (円)	CO2排出量 (kg-CO2)	割合	量		料金 (円)	CO2排出量 (kg-CO2)	割合	量		料金 (円)	CO2排出量 (kg-CO2)	割合
kWh	609,774	9,049.94	6.5%	22,616.00	kWh	616,179	10,448.59	5.7%	21,083.00	kWh		9,740.35	5.3%	18,075.00	kWh		8,350.65	4.6%
kWh					kWh					kWh					kWh			
kWh					kWh					kWh					kWh			
kWh					kWh					kWh					kWh			
L	241,408	3,858.62	2.8%	1,594.00	L	197,096	3,698.08	2.0%	1,932.00	L	283,139	4,482.24	2.4%	2,348.00	L		5,447.36	3.0%
L	1,159,148	33,443.77	24.1%	14,802.00	L	1,006,169	38,189.16	20.8%	15,663.00	L	1,388,333	40,410.54	21.9%	13,994.00	L		36,104.52	19.9%
L	40,208	991.02	0.7%	400.00	L	30,200	996.00	0.5%	500.00	L	48,950	1,245.00	0.7%	451.00	L		1,122.99	0.6%
L		91,435.40	65.9%	48,200.00	L		130,622.00	71.0%	47,600.00	L		128,996.00	69.8%	48,000.00	L		130,080.00	71.8%
m3					m3					m3					m3			
kg					kg					kg					kg			
kg					kg					kg					kg			
	2,050,538	138,778.75	100.0%			1,849,644	183,953.83	100.0%			1,720,422	184,874.13	100.0%				181,105.52	100.0%
t				952.01	t				997.60	t				935.00	t			
t				952.01	t				997.60	t				935.00	t			
t				644.28	t				645.27	t				598.00	t			
t					t					t					t			
t				1,083.58	t				1,091.67	t				1,037.00	t			
t				439.30	t				446.40	t				439.00	t			
t				644.28	t				645.27	t				598.00	t			
kg					kg					kg								
L	5,850,600			461,920.00	L	8,561,400			450,000.00	L	7,364,600			362,800.00	L	6,560,000		
L					L					L					L			
L					L					L					L			
L					L					L					L			
L					L					L					L			
L	762,000			72,600.00	L	1,566,000			72,400.00	L	1,752,000			76,000.00	L	1,968,000		
L					L					L					L			
L					L					L					L			
L					L					L					L			
m3	91,115			650.00	m3	81,140			608.00	m3	74,810			593.00	m3			
m3	0				m3	0				m3	0				m3			
m3	0			35,788.00	m3	0			35,942.00	m3	0			33,079.00	m3			
kg																		
kg																		
kg																		

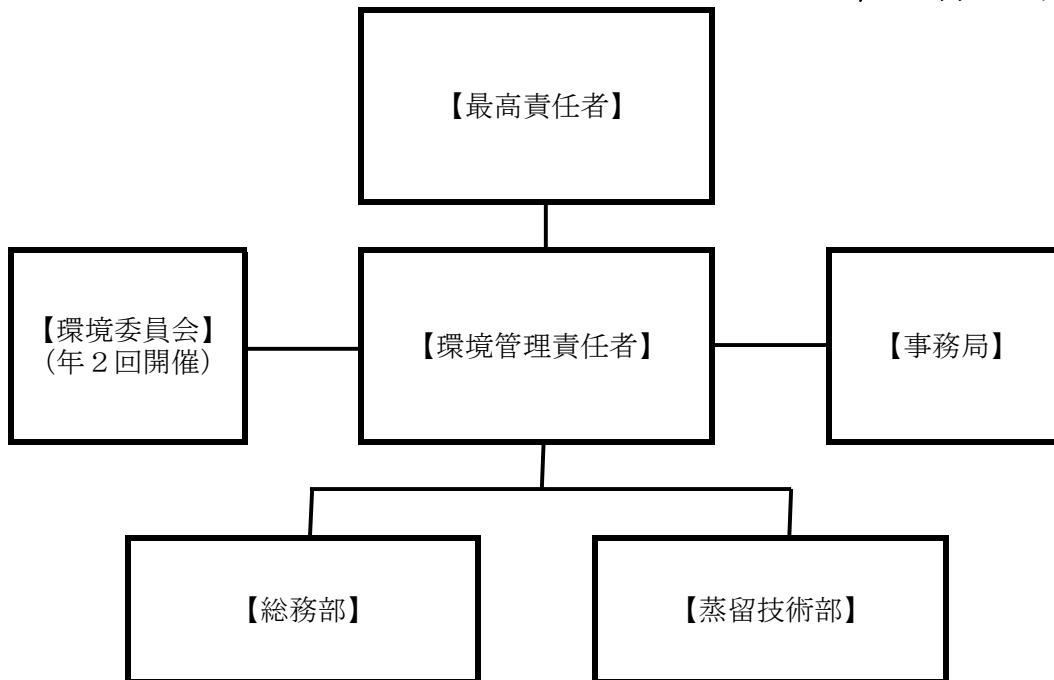
11. 廃油の処理工程図



3. EA21推進体制

2019年12月 1日作成

2023年 3月31日改訂



職 名	役 割
最高責任者	①環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ②エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源（人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む）を準備する。 ③環境方針を制定する。 ④エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。
環境管理責任者	①エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 ②エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
事務局	①事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。
環境委員会	最高責任者・環境管理責任者・事務局・部門長で構成し、月1回環境管理責任者が召集する。環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。

4. 環境経営目標とその実績

当社に於ける2017/4/1～2018/3/31の環境負荷実績を把握し、
2023/4/1～2024/3/31迄の目標を下記の通り定め活動を開始しました。

1. 環境目標とその実績

*購入電力の排出係数は、0.408kg-CO₂/kWh(東京電力エナジーパートナー(株)・2023年度)を使用しています。

*2023年の実績は、2023/4/1～2024/3/31の1年間のデータです。

環境経営目標	基準値	今年度目標				中長期目標	
	2017年	2023年				2024年	2025年
	実績	目標	目標値	実績	目標の達成状況		
①売上高100万円当たりの二酸化炭素排出量の削減(kg-CO ₂ /百万円)	2,679.00	2017年実績に対して6%削減	2,518.26	2,187.62	2017年実績に対して18.34%削減出来た。	2017年実績に対して7%削減	2017年実績に対して8%削減
②売上高100万円当たりの廃棄物排出量の削減(t/百万円)	6.50	2017年実績に対して6%削減	6.11	8.02	2017年実績に対して23.38%増加した。	2017年実績に対して7%削減	2017年実績に対して8%削減
③中間処理量(t)当たりの水資源投入量の削減(m ³ /t)	40.31	2017年実績に対して6%削減	37.89	46.88	2017年実績に対して16.30%増加した。	2017年実績に対して7%削減	2017年実績に対して8%削減
④化学物質取扱及び管理の徹底	—	取扱品の調査		次ページ 参照		管理手順の順守	管理手順の順守
⑤本業に関する目標	—	①品質向上に努める ②既存顧客の満足度を高める ③新規顧客の獲得に努める		次ページ 参照		本業に関する目標の見直し・決定	本業に関する目標の見直し・決定

2. 主な環境負荷実績

環境への負荷	2017年	2018年	2019年
①二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	179,493.51	181,366.815	184,874.13
②廃棄物排出量(t)	435.81	73	76
③水資源投入量(m ³)	33,619	37,128	36,550
④中間処理量(t)	834	935	998

環境への負荷	2020年	2021年	2022年
①二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	183,953.83	138,778.75	133,721.10
②廃棄物排出量(t)	78	83	75
③水資源投入量(m ³)	36,438	36,056	36,376
④中間処理量(t)	952	993	950

環境への負荷	2023年		
①二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	133,444.72		
②廃棄物排出量(t)	489.49		
③水資源投入量(m ³)	38,444		
④中間処理量(t)	820		

5. 環境経営計画の取組みと評価

*2023年4月～2024年3月迄の活動の取組みと評価をしております。

環境経営計画	環境活動計画の取組結果とその評価
1. 二酸化炭素排出量の削減 ①空調温度適正化・表示 ②照明不要時のＯＦＦの推進 ③エアコン清掃の実施 ④エコドライブ推進 ⑤社用車の点検・整備	2017年実績に対して2023年は18.34%削減出来た。二酸化炭素排出量の多い中間処理量は減少しているので、このまま削減に努めて次回も削減目標を達成したい。
	次年度の取組内容 このまま、2017年実績に対しての削減に取り組む。
2. 廃棄物排出量の削減 ①分別ルールの徹底 ②廃棄物置場の整備 ③産廃業者との契約書の確認 ④裏紙使用ルールの徹底	2017年実績に対して2023年は、23.38%増加した。売上構成の大きな変化により、行ってきた対策が追いつけずに目標を達成出来なかった。産業廃棄物の量が増えて、売上の減少が主な原因となる。
	次年度の取組内容 廃棄物の更なる再資源化に努め、溶剤の販売に力を注ぎ目標達成に努める。
3. 水資源投入量の削減 ①毎月の使用量の確認(2ヶ月に1度) ②節水表示(手洗い場・トイレ) ③トイレの節水	2017年実績に対して2023年は、16.30%増加した。
	次年度の取組内容 更なる節水化に努め、水の資源化も検討し、出来るものから実現する。
4. 化学物質取扱及び管理の徹底 ①取扱商品(化学物質含有)の把握 ②購入量の把握 ③SDSの入手 ④取扱商品一覧表の作成 ⑤管理手順の策定	化学物質が含まれているであろう溶剤等のSDSを入手して化学物質含有について調査・把握をした。その結果、当社で使用している溶剤等には化学物質が含まれていないことが確認できた。製品として、トリクレン等を扱っている。
	次年度の取組内容 新規の溶剤等を使用する際は必ずSDSを入手して化学物質の含有について確認する。
5. 本業に関する目標 ①品質向上に努める。 ②既存顧客の満足度を高める。 ③新規顧客の獲得に努める。	洗浄溶剤の値上がり相次いで実施されて、再生加工への依頼が従来より増している。再生加工の効率化を図り顧客の満足度をより高めたい。
	次年度の取組内容 今後は、とにかく再生溶剤の品質向上に努めていきたい。

6. 環境関連法規制の遵守

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

適用される法規制	遵守事項	遵守状況
水質汚濁防止法	特定施設の設置届	遵法
	排水基準の遵守、測定と記録	遵法
	緊急事態の措置（流出防止ピット設置）	遵法
	水質 2 種公害防止管理者選任の届出	遵法
道路運送車両法	車両の登録、点検整備	遵法
労働安全衛生法	健康診断	遵法
	フォークリフト年次点検実施	遵法
	フォークリフト運転免許取得	遵法
騒音規制法	規制基準の遵守、測定と記録	遵法
振動規制法	規制基準の遵守、測定と記録	遵法
消防法	危険物製造所の設置許可	遵法
	危険物屋内貯蔵所の設置許可	遵法
	保安監督者の届出	遵法
廃棄物処理法	廃棄物処理基準の遵守	遵法
	廃棄物保管基準の遵守	遵法
	廃棄物処理委託基準の遵守	遵法
グリーン購入法	購入品の選定中	選定中

2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2024年3月31日の環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

7. 代表者による全体の評価と見直し

- ・2017年度の洗浄用シンナーの売上が2023年度は98%減という壊滅的に、減少してしまった。
その為、会社の生き残りの為、洗浄溶剤の販売及び産業廃棄物処理に力を注いだ。
その結果、溶剤離れが続いている中で微増ではあるが、増加することが出来た。
この売上の大きな構成の変化により、100万円当たりの産業廃棄物の排出削減目標が達成出来なかった。
しかし、CO₂削減目標は達成出来たので目指す方向としては良かったと考えられる。
今後、産業廃棄物削減については、更なる再資源化に努め、なんとか目標を達成出来るようにしたい。